

# ふれあい

## 2015年 春季号 vol.58

2015年(平成27年)5月15日発行

日本医療機能評価機構認定病院 医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院 広報誌  
TEL: 076-246-5600 FAX: 076-246-3914 石川県野々市市郷町262-2  
http://www.nouge.net



### 病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様へ、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

### 基本方針

1. 患者の皆様への権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

### 患者の皆様への権利

私達は患者の皆様への権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様への権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、十分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

## 地域住民の「健康寿命」の延伸に取り組む 新しい診療体制が4月からスタートしました



病院長  
佐藤 秀次

最近、「健康寿命」という言葉をよく耳にするようになりました。

「健康寿命」とは、日常生活に介護の必要がなく、自立した生活ができる質の良い生存期間を意味する言葉です。健康寿命は「平均寿命から、自立した生活のできなくなった(介護が必要であった)期間を差し引いた値」で表されます。平成22年の我が国の統計によると、平均寿命は女性86.30歳、男性79.55歳である一方、健康寿命は女性73.62歳、男性70.42歳でした。平均寿命と健康寿命の開き、つまり、介護が必要であった生存期間は、女性12.68年、男性9.13年ということとなります。男女合わせた平均寿命が世界一の長寿を誇る我が国において、喜びきれない実態がここにあります。

近年特に「健康寿命」が声高に叫ばれるようになったのは、間もなく



く到来する「未曾有の少子高齢化社会」を反映してのことと言うまでもありません。国家経済の担い手である若い世代が減少し、その一方で高齢者が増え、「医療費や介護費等の社会保障費が膨張することによる国家財政の逼迫」という当然のことが、ようやく国民の中に危機感をもつて浸透し始めました。

我が国において、これから「健康寿命」の延伸を図っていくことは、国民の皆さまにおいても、私ども医療機関においても、回避できない喫緊の課題であり、具体的な対策を推し進めていかねばなりません。

当院は、脳神経疾患及び脊椎脊髄疾患の専門病院として、地域住民の健康を守ることを使命としてきました。この4月から、脳神経外科には金沢医療センターより池田清延先生、県立中央病院より宗本滋先生、富山大学付属病院より旭雄士先生の3名、また、内科には浅ノ川総合病院から中澤哲也先生を迎え、診療体制をさらに強化することができました。

当院が専門とする「脳卒中」は、介護を必要とする原因疾患の第1位であり、また、「脊椎疾患」も

### 機能外科専門外来・頭痛専門外来 開設のご案内

4月より機能外科専門外来と頭痛専門外来を開設しました。診察は旭脳神経外科部長が担当します。診察日は毎週火曜日の午前と木曜日の午後からで、**予約制**となっています。診察を希望される方は**076-246-4899(医療秘書課)**までご連絡ください。



患者の自立した生活を損なう主要疾患の一つです。これらの疾患の急性期治療とリハビリテーションをさらに充実させることは、患者さんの健康寿命を延伸することにつながります。また、4月から新たに始める「パーキンソン氏病」に対する機能的脳神経外科手術も、同疾患患者の健康寿命の延長に効果を発揮すると期待されます。さらに「健康寿命」の延伸に重要なものは、疾病の予防と早期発見です。当院は、経験豊富で熟練した脳神経外科専門医が脳ドックと健康指導にあたり、今後益々成果をあげていきたいと考えています。

地域の人々の「健康寿命」が延び、安心して生活ができるように、当院はこれからもその役割を果たしていく決意です。

# 新任医師紹介

この春より金沢脳神経外科病院に赴任された医師4名をご紹介します！



## 診療科

脳神経外科

## 前の勤務先

独立行政法人国立病院機構  
金沢医療センター（副院長）

## 専門分野

脳血管障害・頭蓋底外科手術・機能的脳神経外科

## 座右の銘

鬼手仏心  
すべては患者さんのために  
伝承

## 患者さん一言

金沢大学附属病院と金沢医療センターで、脳動脈瘤の血管内治療や

副院長・脳卒中センター長  
池田 清延 (いけだ きよのぶ)



脳腫瘍に対する頭蓋底手術の初めての導入や開発、県で初めてとなる機能的脳神経外科手術のパーキンソン手術などを行うとともに、国内外の学会や論文でも発表して参りました。これらの経験をもとに、脳神経疾患をもつより多くの患者さんの治療に参加させていただきたく、ここ金沢脳神経外科病院に赴任いたしました。よろしくお願ひします。

副院長・リハビリテーションセンター長  
宗本 滋 (むねもと しげる)



## 診療科

脳神経外科・リハビリテーション科

## 前の勤務先

石川県立中央病院（脳神経外科科長兼脳血管診療センター室長兼リハビリテーションセンター部長）

## 専門分野

脳神経外科疾患全般・顔面痙攣・三叉神経痛・頸動脈狭窄症

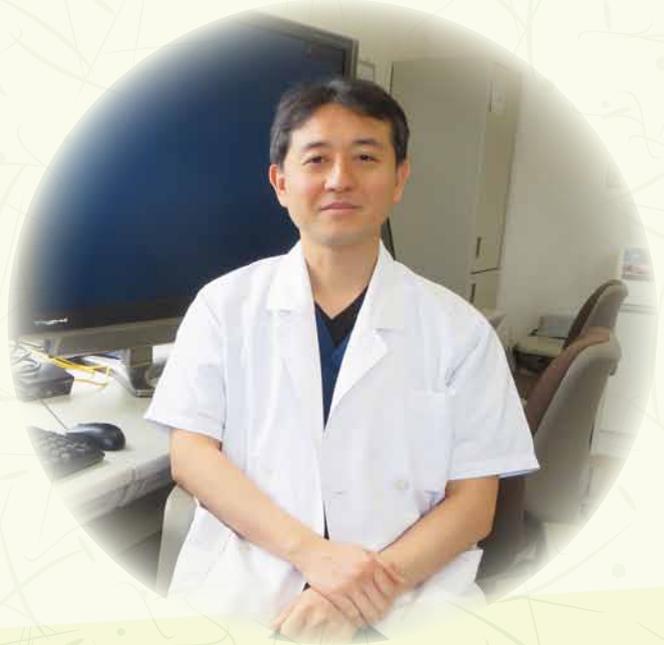
## 座右の銘

新しいことを始める時には「千里の道も一歩から」という気持ちで取り組んでいます。

## 患者さん一言

私はこの3月まで石川県立中央病院で脳神経外科医として30数年間勤務してきました。その間にリハビリテーション、地域医療連携にも関わってきました。この4月から当院で脳神経外科とリハビリテーションの両方を担当しています。当院は脳神経外科の専門病院としてこの地にはなくてはならない存在であり、その使命を果たしてきております。私もスタッフの皆様と共に質の高い医療を提供することに努め、微力ながら地域医療に貢献していきたいと思っております。

脳神経外科部長  
旭 雄士 (あさひ たかし)



診療科

脳神経外科

前の勤務先

富山大学医学部脳神経外科

(助教)

専門分野

定位・機能神経外科手術

パーキンソン病 頭痛

座右の銘

「日進月歩」 医療は日々進歩しております。新しい情報を常に取り入れて、よりよい治療法を行っていききたいと思

患者さんに一言

います。  
手術でよくなる可能性がある

のに知らずにあきらめてしまっている患者さんに、手術による治療法があることを知っていただきたいと思

診療科

内科

前の勤務先

医療法人社団浅ノ川 浅ノ川

総合病院 (腎臓内科部長)

専門分野

腎疾患

座右の銘

A Dream Goes On Forever

夢は果てしなく続く

患者さんに一言

長年、腎臓内科医として慢性腎臓病対策とQOL向上を目指した透析医療に努めて参りました。今後は当院の療養病棟にて、これまで培った経験を生かしながら、一般内科医として患者さんの診療に携わりたいと思

内科部長  
中澤 哲也 (なかざわ てつや)



TOPIC

## 平成27年度入職式

4月1日に平成27年度入職式が行われました。今年度の入職者は、医師4名、看護部13名、リハビリテーションセンター7名の計24名です。佐藤病院長からの式辞と

新入職員代表による宣誓が行われました。



入職式が終わるといよいよ全体研修の始まりです。当院のこれまでの歩みや、各部門の特徴、役割を学び、最終日には外部主催の新入社員公開セミナーに参加しました。全体研修が終わった今、新入職員の皆さんは、それぞれの部署で医療人としての第一歩を踏み出しています。



TOPIC

## 第11回 QCサークル活動発表大会

3月7日に「第11回QCサークル活動発表大会」が行われました。今年も院内において様々な取り組みが行われ、他部署の取り組みの成果を学ぶ機会となりました。発表した上位3サークルが、全国大会に出場します。

金賞「注射剤が原因で発生する調剤過誤を無くそう」  
(薬剤部)

銀賞「看護師の入院オリエンテーションにかかる負担を減らそう」  
(3病棟)

銅賞「正しいADL情報共有表にしよう」  
(5病棟)

## QCサークル推進委員会



## 患者さんコーナー

桃原 喜保子 様

御免下さいませ。

立春とは云え、寒さ厳しき折り本日はふれあい冬季号を御送付賜わり誠に有難うございました。二〇一〇年、主人がMD法手術をお受けしましたが、実は昨年、急性心筋梗塞にて召され逝きました。ご連絡も申し上げなかつた為、季刊誌をお送り頂き、申し訳なく存じます。

術後の四年間、ほとんど完治の状態で、口癖の様に「痛い所もカユい所もない」などと自慢しておりました。

あんなに辛かった腰の痛みをお救いいただき、余生を過ごさせて頂けました事を心から感謝申し上げます。

院長先生のお優しい眼差しを思い浮かべてこれからも痛みでお悩みの方々を一人でも多くお助けくださいます事をお祈り申し上げます。誠に有難うございました。深く深く御礼申し上げます。

草々

## 医療安全管理室だより

### 第1回 「医療安全管理室の役割」

当院では、病院全般にかかる医療安全対策の実施・実行・評価を含め、医療安全管理の組織横断的な活動をするために、医療安全管理室が設置されています。今回は医療安全管理室の活動の一部をご紹介します。

年に2回義務付けられている医療安全研修として、平成26年度は「KYTについて」と「ヒヤリハット事例分析システム活用法」の研修を行いました。どちらの研修も現場ですぐに活用できる内容だったので、職員のみならずには好評でした。

❗ KYTとは危険(kiken)予知(yochi)トレーニング(training)の頭文字をとったもの。事故・災害を防ぐため危険を予想したり、その対応策を話し合ったりすることです。

